

重要取組シート

教育委員会事務局教職員人事部
教職員企画課

取組項目		働きやすく「働きがい」のある学校の実現
現状・課題		○教員の勤務時間在校等時間は各種取組によって、働き方改革プラン SMILE 策定前の平成 28 年度と比較すると減少（平成 28 年度：38 時間 43 分、令和 4 年度：35 時間 17 分）したが、勤務時間外在校等時間が月 80 時間を超える教員数は依然として多い。また、長時間勤務の対象者が固定化されている傾向がある。 ○教員が長時間勤務によって余裕がなくなることは、子どもの変化に気づけなくなることを招き、また、事務処理誤りを誘発することにもつながりかねない。さらに、教員が教員にしかできない業務に専念できる環境を整備し、教職の魅力を向上させなければ、教員不足、教員のなり手不足の解消は図れない。 ○教育の充実、ひいては子どもたちのウェルビーイングにつなげるため、教員が教員にしかできない業務に専念できる環境を整備し、教員が心身ともに健康な状態で、やりがいを持ち、変化を前向きにとらえながら学び続け、活躍できる「教員のウェルビーイング」を確保する必要がある。
取組の内容		○これまで「当たり前」に行っていた働き方や業務について、3つの視点「慣習や前例にとらわれずに社会情勢をとらえる」「本来の目的に立ち返る」「持続可能か」で見つめ直すことに挑戦する。 ○令和 6 年度から 7 年度にかけて、「ウェルビーイング向上のための取組指針」に基づき、「できることはただちに」という考え方のもと取組を進める。
スケジュール	前期 (～7 月)	☐ 働き方改革推進会議（第 1 回）を開催し、取組状況や進捗の確認（6 月）
	中期 (～11 月)	☐ 働き方改革推進会議（第 2 回）を開催し、取組状況や進捗の確認（9 月） ☐ 重点取組の進捗確認（9 月）
	後期 (～3 月)	☐ 働き方改革推進会議（第 3 回）を開催し、取組状況や進捗の確認（12 月） ☐ 教職員対象 働き方改革に関するアンケート実施（12 月） ☐ 重点取組のすべての項目を対象とした進捗確認（1 月） ☐ 取組指針指標到達度確認（2 月）
	次年度以降	☐ 「ウェルビーイング向上のための取組指針」1 年目の検証、2 年目取組の実施 ☐ 令和 8 年度以降の取組について検討する。
進捗の状況	前期 (～7 月)	☐ 働き方改革推進会議（第 1 回）を開催し、取組状況や進捗の確認（7 月）
	中期 (～11 月)	☐ 働き方改革推進会議（第 2 回）を開催し、取組状況や進捗の確認（9 月） ☐ 重点取組の進捗確認（10 月）

(様式 4)

2025 堺市基本計画	後期 (～3月)	☐ 働き方改革推進会議（第3回、第4回）を開催し、取組状況や進捗の確認、年間総括及び次年度の取組確認（12月、2月） ☐ 教職員対象 働き方改革に関するアンケートを実施（2月） ☐ 重点取組のすべての項目を対象とした進捗確認（12月）（3月） ☐ 取組指針指標到達度確認（3月）	
	該当する 施策	3－（2）子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進 3－（4）安心して学べる教育環境の充実	
	寄与する KPI	学力調査の堺市の平均値（全国を100とした場合） [現状値 小6 100.5 中3 95.8（2019年度）、 小6 97.9 中3 96.9（2023年度）]	目標値（2025年度） 小6 103.0 中3 100.0
		「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて分かるまで教えてくれる（当てはまる・どちらかといえば当てはまる）」と答えた児童生徒の割合 [現状値：小6 88.4%、中2 78.8%（2019年度） 小6 90.4% 中2 84.2%（2022年度）]	小6 90.0% 中2 85.0%
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 4	質の高い教育をみんなに
	寄与する KPI	学力調査の堺市の平均値（全国を100とした場合） [現状値 小6 100.5 中3 95.8（2019年度）、 小6 97.9 中3 96.9（2023年度）]	目標値（2025年度） 小6 103.0 中3 100.0